

過疎地域における集落の状況に関する 現況把握調査最終報告 (概要版)

令和2年3月

総務省 地域力創造グループ 過疎対策室

※ 本概要版は、一部の項目を除き、「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」(過疎地域をはじめとする条件不利地域が対象)のうち、過疎地域自立促進特別措置法により過疎地域に指定された地域のみを抜粋して集計したものである。

調査の目的等

1. 目的

- 総務省と国土交通省では、これまで、平成11年度、平成12年度、平成18年度、平成22年度及び平成27年度に、合同で過疎地域等における集落の現況把握調査を実施してきたところ。前回調査から4年が経過したため、集落の最新の状況を把握する目的で令和元年度に実施。
※ 本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位とする(農業センサスにおける農業集落とは異なる)。

2. 調査対象

- 平成31(2019)年4月1日時点の過疎法(過疎地域自立促進特別措置法)により過疎地域に指定された地域
※ 東日本大震災による原発事故被災地のうち、前回調査時点(平成27年4月30日現在)全域が避難指示区域にあり、調査の実施が困難と思われたため調査対象外とした3町村は、今回も引き続き調査対象外とした。

3. 調査方法

- 調査方法：ブロック単位での公表を前提に、都道府県経由で調査対象地域を有する市町村に調査票をメールで送付し、都道府県経由で回収。
- 調査時期：令和元年9月11日～令和元年11月29日
- 回収率：調査対象の814市町村すべてから回答を得た。

4. 取りまとめ方法

- 地方ブロック単位で取りまとめて集計
 - ・東北圏：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
 - ・首都圏：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
 - ・北陸圏：富山、石川、福井
 - ・中部圏：長野、岐阜、静岡、愛知、三重
 - ・近畿圏：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 - ・中国圏：鳥取、島根、岡山、広島、山口
 - ・四国圏：徳島、香川、愛媛、高知
 - ・九州圏：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
- ※ 前回調査の集計対象は、調査時点の過疎地域市町村(794市町村)のほか、調査時点では非過疎地域で旧過疎法(過疎地域活性化特別措置法)では過疎地域に指定されていた区域を有する23市町村を含めた「過疎地域等」(計817市町村)である(東日本大震災の影響により対象外とした団体等を除く。)(P.2、3を除く。)
- ※ 端数処理の関係で計が合わない場合がある。

目次

集落数・集落人口・1集落当たりの平均人口	1
集落の経年変化	2
集落の高齢者割合	4
集落機能の維持状況	6
集落機能が低下・機能維持困難な集落の特性	7
今後の集落の動向	9
消滅(無人化)の可能性がある集落の特性	10
前回調査で「10年以内に消滅(無人化)」とされていた集落の状況	12
今後の集落機能の維持・再編成の見通し	14
転入者の状況	15
子育て世帯の転入の状況	16
サポート人材の活動状況	17
消滅(無人化)が危惧される集落における生活環境の状況	20
生活サービス機能の立地状況	22

集落数・集落人口・1集落当たりの平均人口

- 過疎地域の集落数は6万3,237集落、集落人口は1,035万7,584人、過疎地域の1集落当たりの平均人口は約164人である。
- 北海道、北陸圏、沖縄県では、平地における集落の割合が40%を超えている一方、首都圏、中部圏、近畿圏では、山間地における集落の割合が40%を超えている。
- 1集落当たりの平均人口は、四国圏の山間地が最も少なくなっている。

地方ブロック別・地域区分別 集落数

過疎地域	地域区分別 集落数						(参考) 前回 調査	地域区分別 集落人口					(参考) 前回 調査	地域区分別 1集落当たりの平均人口					(参考) 前回 調査		
	山間地	中間地	平地	都市的 地域	無回答	計		山間地	中間地	平地	都市的 地域	無回答		計	山間地	中間地	平地	都市的 地域		無回答	全体
1 北海道	636 (17.0%)	975 (26.0%)	1,596 (42.6%)	467 (12.5%)	72 (1.9%)	3,746 (100.0%)	3,876	64,165 (4.3%)	197,190 (13.3%)	362,920 (24.4%)	838,176 (56.4%)	22,498 (1.5%)	1,484,949 (100.0%)	1,421,601	101.0 [635]	202.2 [975]	227.4 [1,596]	1,794.8 [467]	312.5 [72]	396.5 [3,745]	374.7 [3,794]
2 東北圏	3,389 (24.1%)	3,814 (27.1%)	5,407 (38.4%)	1,239 (8.8%)	218 (1.5%)	14,067 (100.0%)	14,618	335,308 (13.3%)	637,838 (25.2%)	1,020,074 (40.3%)	500,077 (19.8%)	35,940 (1.4%)	2,529,237 (100.0%)	2,969,574	99.0 [3,388]	167.3 [3,813]	188.7 [5,406]	403.9 [1,238]	166.4 [216]	179.9 [14,061]	204.4 [14,527]
3 首都圏	866 (42.0%)	648 (31.5%)	517 (25.1%)	29 (1.4%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)	2,423	92,058 (22.8%)	135,006 (33.5%)	158,500 (39.3%)	17,320 (4.3%)	0 (0.0%)	402,884 (100.0%)	478,960	106.3 [866]	208.3 [648]	306.6 [517]	597.2 [29]	- [0]	195.6 [2,060]	201.3 [2,379]
4 北陸圏	588 (28.4%)	429 (20.7%)	856 (41.4%)	197 (9.5%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,812	37,309 (12.5%)	53,346 (17.8%)	152,678 (51.1%)	55,583 (18.6%)	0 (0.0%)	298,916 (100.0%)	237,573	63.5 [588]	124.3 [429]	178.4 [856]	282.1 [197]	- [0]	144.4 [2,070]	131.1 [1,812]
5 中部圏	2,042 (56.9%)	1,001 (27.9%)	434 (12.1%)	76 (2.1%)	36 (1.0%)	3,589 (100.0%)	3,904	185,250 (35.6%)	174,199 (33.5%)	110,592 (21.3%)	41,372 (8.0%)	8,763 (1.7%)	520,176 (100.0%)	617,997	90.7 [2,042]	174.0 [1,001]	254.8 [434]	544.4 [76]	243.4 [36]	144.9 [3,589]	159.2 [3,883]
6 近畿圏	1,552 (43.2%)	1,150 (32.0%)	621 (17.3%)	257 (7.2%)	9 (0.3%)	3,589 (100.0%)	3,168	144,025 (20.1%)	240,269 (33.5%)	200,610 (28.0%)	130,646 (18.2%)	1,069 (0.1%)	716,619 (100.0%)	629,620	92.8 [1,552]	208.9 [1,150]	323.0 [621]	508.4 [257]	118.8 [9]	199.7 [3,589]	201.6 [3,123]
7 中国圏	4,579 (37.0%)	4,143 (33.5%)	2,726 (22.0%)	807 (6.5%)	113 (0.9%)	12,368 (100.0%)	12,794	256,686 (22.4%)	412,899 (36.0%)	338,827 (29.5%)	131,706 (11.5%)	7,486 (0.7%)	1,147,604 (100.0%)	1,373,263	56.1 [4,579]	99.7 [4,143]	124.3 [2,726]	163.2 [807]	66.2 [113]	92.8 [12,368]	107.8 [12,741]
8 四国圏	2,545 (36.5%)	1,892 (27.1%)	2,039 (29.3%)	485 (7.0%)	9 (0.1%)	6,970 (100.0%)	7,177	124,967 (17.4%)	195,535 (27.3%)	294,514 (41.1%)	98,552 (13.8%)	3,131 (0.4%)	716,699 (100.0%)	813,661	49.1 [2,545]	103.3 [1,892]	144.4 [2,039]	203.2 [485]	347.9 [9]	102.8 [6,970]	113.4 [7,174]
9 九州圏	3,700 (25.5%)	4,635 (31.9%)	5,299 (36.5%)	867 (6.0%)	7 (0.0%)	14,508 (100.0%)	15,385	266,119 (10.9%)	682,587 (28.0%)	1,023,947 (42.0%)	460,284 (18.9%)	3,899 (0.2%)	2,436,836 (100.0%)	2,822,571	71.9 [3,700]	147.3 [4,635]	193.2 [5,299]	530.9 [867]	557.0 [7]	168.0 [14,508]	187.8 [15,030]
10 沖縄県	35 (13.0%)	52 (19.3%)	183 (67.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	283	6,832 (6.6%)	14,012 (13.5%)	82,820 (79.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	103,664 (100.0%)	113,674	195.2 [35]	269.5 [52]	452.6 [183]	- [0]	- [0]	383.9 [270]	401.7 [283]
合計	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)	65,440	1,512,719 (14.6%)	2,742,881 (26.5%)	3,745,482 (36.2%)	2,273,716 (22.0%)	82,786 (0.8%)	10,357,584 (100.0%)	11,478,495	75.9 [19,930]	146.4 [18,738]	190.3 [19,677]	514.1 [4,423]	179.2 [462]	163.8 [63,230]	177.3 [64,746]

■:各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が最も大きい区分

■:各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が2番目に大きい区分

※上段は各区分における1集落あたり平均人口

※下段〔〕内は人口の回答のあった集落数

※人口は平成31年4月1日の住民基本台帳人口

※「山間地」:山間農業地域。林野率が80%以上の集落。

「平地」:平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。

「中間地」:中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。

「都市的地域」:都市的地域。DID面積のある集落。

集落の経年変化①

- 前回調査時点の過疎地域における集落の状況について経年変化をみると、集落数は6万1,511集落であり、前回調査時点の集落数(6万1,860集落)から0.6%(349集落)減少した。特に北海道で大きく減少している。
- 経年比較が可能な地域における集落人口は974万5,485人であり、前回調査時点の集落人口(1,047万1,075人)から6.9%(72万5,590人)減少している。また、集落の平均人口は169.3人から158.4人へと減少しており、集落の小規模化が進んでいる。

前回調査時点の過疎地域における地方ブロック別・集落数、集落人口及び1集落当たりの平均人口の推移

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落数			集落人口			集落あたり平均人口		
	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査	前回調査	4年間 増減(人)
1 北海道	3,745 (6.1%)	3,841 (6.2%)	-2.5%	1,322,229 (13.6%)	1,405,756 (13.4%)	-5.9%	353.1	366.0	-12.9
2 東北圏	13,698 (22.3%)	13,705 (22.2%)	-0.1%	2,435,846 (25.0%)	2,645,910 (25.3%)	-7.9%	177.8	193.1	-15.2
3 首都圏	1,876 (3.0%)	1,885 (3.0%)	-0.5%	344,759 (3.5%)	378,143 (3.6%)	-8.8%	183.8	200.6	-16.8
4 北陸圏	1,700 (2.8%)	1,711 (2.8%)	-0.6%	205,785 (2.1%)	222,350 (2.1%)	-7.4%	121.1	130.0	-8.9
5 中部圏	3,551 (5.8%)	3,566 (5.8%)	-0.4%	498,684 (5.1%)	536,496 (5.1%)	-7.0%	140.4	150.4	-10.0
6 近畿圏	3,072 (5.0%)	3,081 (5.0%)	-0.3%	570,540 (5.9%)	600,798 (5.7%)	-5.0%	185.7	195.0	-9.3
7 中国圏	12,368 (20.1%)	12,417 (20.1%)	-0.4%	1,147,604 (11.8%)	1,235,838 (11.8%)	-7.1%	92.8	99.5	-6.7
8 四国圏	6,945 (11.3%)	6,980 (11.3%)	-0.5%	711,845 (7.3%)	774,128 (7.4%)	-8.0%	102.5	110.9	-8.4
9 九州圏	14,292 (23.2%)	14,410 (23.3%)	-0.8%	2,405,748 (24.7%)	2,567,579 (24.5%)	-6.3%	168.3	178.2	-9.9
10 沖縄県	264 (0.4%)	264 (0.4%)	0.0%	102,445 (1.1%)	104,077 (1.0%)	-1.6%	388.0	394.2	-6.2
合計	61,511 (100.0%)	61,860 (100.0%)	-0.6%	9,745,485 (100.0%)	10,471,075 (100.0%)	-6.9%	158.4	169.3	-10.8

※今回調査(R1)・前回調査(H27)ともに、前回調査時(H27.4.1時点)の過疎地域のうち、回答のあった794市町村における集落数。
集落の再編等なしに前回調査から今回調査にかけて集落数が変更されている場合は、比較の便宜上、今回調査の集落数に統一している。

集落の経年変化②

- 前回調査時の集落(6万1,860集落)から今回調査時の集落(6万1,511集落)は、349集落減少している。この内訳は、消滅(無人化)した集落(139集落の減)や集落再編により減少した集落(327集落の減)のほか、新たに誕生した集落(74集落の増)等が挙げられる。

前回調査時点の過疎地域における地方ブロック別 集落数の推移

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査 対象集落 (A)	消滅集落 (B)	集落再編により減少した集落			新たに 誕生 (D)	前回 回答漏れ等 (E)	現集落数 (A-B- C+D+E)	4年間 増減率
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)				
1 北海道	3,841 (100.0%)	12 (0.3%)	12 (0.3%)	77 (2.0%)	89 (2.3%)	3 (0.1%)	2 (0.1%)	3,745 (97.5%)	-2.5%
2 東北圏	13,705 (100.0%)	16 (0.1%)	13 (0.1%)	8 (0.1%)	21 (0.2%)	21 (0.2%)	9 (0.1%)	13,698 (99.9%)	-0.1%
3 首都圏	1,885 (100.0%)	1 (0.1%)	6 (0.3%)	5 (0.3%)	11 (0.6%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	1,876 (99.5%)	-0.5%
4 北陸圏	1,711 (100.0%)	11 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,700 (99.4%)	-0.6%
5 中部圏	3,566 (100.0%)	5 (0.1%)	9 (0.3%)	6 (0.2%)	15 (0.4%)	1 (0.0%)	4 (0.1%)	3,551 (99.6%)	-0.4%
6 近畿圏	3,081 (100.0%)	8 (0.3%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,072 (99.7%)	-0.3%
7 中国圏	12,417 (100.0%)	40 (0.3%)	4 (0.0%)	21 (0.2%)	25 (0.2%)	13 (0.1%)	3 (0.0%)	12,368 (99.6%)	-0.4%
8 四国圏	6,980 (100.0%)	19 (0.3%)	6 (0.1%)	27 (0.4%)	33 (0.5%)	16 (0.2%)	1 (0.0%)	6,945 (99.5%)	-0.5%
9 九州圏	14,410 (100.0%)	27 (0.2%)	20 (0.1%)	112 (0.8%)	132 (0.9%)	17 (0.1%)	24 (0.2%)	14,292 (99.2%)	-0.8%
10 沖縄県	264 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)	0.0%
合計	61,860 (100.0%)	139 (0.2%)	71 (0.1%)	256 (0.4%)	327 (0.5%)	74 (0.1%)	43 (0.1%)	61,511 (99.4%)	-0.6%

※今回調査(R1)・前回調査(H27)ともに、前回調査時(H27.4.1時点)の過疎地域のうち、回答のあった794市町村における集落数。

集落の再編等なしに前回調査から今回調査にかけて集落数が変更されている場合は、比較の便宜上、今回調査の集落数に統一している。

※「他に編入」: 他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落

「他と合併」: 他の集落とともに新しい名称の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更)

「分離」: 複数の集落に分かれて合併した集落

集落の高齢者割合①

- 全集落のうち、住民の半数以上が65歳以上である集落の割合は32.2%となっている。
また、75歳以上である集落の割合は5.8%となっている。
- 地方ブロック別にみると、住民の半数以上が65歳以上の集落の割合は中国圏と四国圏で40%を超えており、75歳以上の割合は四国圏で10%を超えている。

地方ブロック別・集落人口に占める65歳及び75歳以上人口割合別 集落数

<65歳以上>

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合							【再掲】65歳以上割合			
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	51 (1.4%)	111 (3.0%)	1,471 (39.3%)	1,090 (29.1%)	868 (23.2%)	131 (3.5%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)	2,723 (72.7%)	999 (26.7%)	35 (0.9%)
2 東北圏	49 (0.3%)	247 (1.8%)	5,693 (40.5%)	5,017 (35.7%)	2,437 (17.3%)	425 (3.0%)	199 (1.4%)	14,067 (100.0%)	11,006 (78.2%)	2,862 (20.3%)	104 (0.7%)
3 首都圏	4 (0.2%)	25 (1.2%)	649 (31.5%)	750 (36.4%)	466 (22.6%)	112 (5.4%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)	1,428 (69.3%)	578 (28.1%)	18 (0.9%)
4 北陸圏	10 (0.5%)	33 (1.6%)	652 (31.5%)	624 (30.1%)	579 (28.0%)	172 (8.3%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,319 (63.7%)	751 (36.3%)	53 (2.6%)
5 中部圏	28 (0.8%)	68 (1.9%)	996 (27.8%)	1,069 (29.8%)	1,002 (27.9%)	298 (8.3%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)	2,161 (60.2%)	1,300 (36.2%)	62 (1.7%)
6 近畿圏	13 (0.4%)	69 (1.9%)	1,130 (31.5%)	1,177 (32.8%)	853 (23.8%)	263 (7.3%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)	2,389 (66.6%)	1,116 (31.1%)	50 (1.4%)
7 中国圏	167 (1.4%)	406 (3.3%)	3,205 (25.9%)	3,355 (27.1%)	3,883 (31.4%)	1,189 (9.6%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	7,133 (57.7%)	5,072 (41.0%)	277 (2.2%)
8 四国圏	49 (0.7%)	136 (2.0%)	1,778 (25.5%)	1,873 (26.9%)	2,092 (30.0%)	898 (12.9%)	144 (2.1%)	6,970 (100.0%)	3,836 (55.0%)	2,990 (42.9%)	216 (3.1%)
9 九州圏	79 (0.5%)	386 (2.7%)	4,885 (33.7%)	4,339 (29.9%)	3,884 (26.8%)	806 (5.6%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)	9,689 (66.8%)	4,690 (32.3%)	141 (1.0%)
10 沖縄県	3 (1.1%)	36 (13.3%)	177 (65.6%)	40 (14.8%)	12 (4.4%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	256 (94.8%)	14 (5.2%)	0 (0.0%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

■ : 各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が最も大きい区分
 ■ : 各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が2番目に大きい区分

<75歳以上>

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合							【再掲】75歳以上割合			
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	93 (2.5%)	163 (4.4%)	1,114 (29.7%)	1,478 (39.5%)	764 (20.4%)	110 (2.9%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)	3,612 (96.4%)	110 (2.9%)	16 (0.4%)
2 東北圏	122 (0.9%)	371 (2.6%)	4,160 (29.6%)	6,655 (47.3%)	2,183 (15.5%)	377 (2.7%)	199 (1.4%)	14,067 (100.0%)	13,491 (95.9%)	377 (2.7%)	37 (0.3%)
3 首都圏	15 (0.7%)	42 (2.0%)	511 (24.8%)	914 (44.4%)	419 (20.3%)	105 (5.1%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)	1,901 (92.3%)	105 (5.1%)	5 (0.2%)
4 北陸圏	27 (1.3%)	57 (2.8%)	518 (25.0%)	846 (40.9%)	489 (23.6%)	133 (6.4%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,937 (93.6%)	133 (6.4%)	24 (1.2%)
5 中部圏	107 (3.0%)	77 (2.1%)	639 (17.8%)	1,392 (38.8%)	984 (27.4%)	262 (7.3%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)	3,199 (89.1%)	262 (7.3%)	24 (0.7%)
6 近畿圏	26 (0.7%)	95 (2.6%)	813 (22.7%)	1,523 (42.4%)	806 (22.5%)	242 (6.7%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)	3,263 (90.9%)	242 (6.7%)	18 (0.5%)
7 中国圏	300 (2.4%)	521 (4.2%)	2,483 (20.1%)	4,484 (36.3%)	3,433 (27.8%)	984 (8.0%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	11,221 (90.7%)	984 (8.0%)	89 (0.7%)
8 四国圏	111 (1.6%)	207 (3.0%)	1,446 (20.7%)	2,420 (34.7%)	1,836 (26.3%)	806 (11.6%)	144 (2.1%)	6,970 (100.0%)	6,020 (86.4%)	806 (11.6%)	84 (1.2%)
9 九州圏	285 (2.0%)	534 (3.7%)	3,654 (25.2%)	5,786 (39.9%)	3,467 (23.9%)	653 (4.5%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)	13,726 (94.6%)	653 (4.5%)	42 (0.3%)
10 沖縄県	3 (1.1%)	43 (15.9%)	140 (51.9%)	62 (23.0%)	18 (6.7%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	266 (98.5%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

■ : 各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が最も大きい区分
 ■ : 各地方ブロックにおいて該当集落数の割合が2番目に大きい区分

※人口は平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口

集落の高齢者割合②

- 前回調査の結果と比較すると、65歳以上の割合が50%以上である集落の割合が22.1%から32.2%に10ポイント増加している。このうち、首都圏、中国圏及び九州圏では、10ポイント以上増加している。

地方ブロック別・高齢者割合別集落数

＜今回調査：令和元年度＞

過疎地域	65歳以上割合別 集落数					【再掲】
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%以上
1 北海道	2,723 (72.7%)	964 (25.7%)	35 (0.9%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)	999 (26.7%)
2 東北圏	11,006 (78.2%)	2,758 (19.6%)	104 (0.7%)	199 (1.4%)	14,067 (100.0%)	2,862 (20.3%)
3 首都圏	1,428 (69.3%)	560 (27.2%)	18 (0.9%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)	578 (28.1%)
4 北陸圏	1,319 (63.7%)	698 (33.7%)	53 (2.6%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	751 (36.3%)
5 中部圏	2,161 (60.2%)	1,238 (34.5%)	62 (1.7%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)	1,300 (36.2%)
6 近畿圏	2,389 (66.6%)	1,066 (29.7%)	50 (1.4%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)	1,116 (31.1%)
7 中国圏	7,133 (57.7%)	4,795 (38.8%)	277 (2.2%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	5,072 (41.0%)
8 四国圏	3,836 (55.0%)	2,774 (39.8%)	216 (3.1%)	144 (2.1%)	6,970 (100.0%)	2,990 (42.9%)
9 九州圏	9,689 (66.8%)	4,549 (31.4%)	141 (1.0%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)	4,690 (32.3%)
10 沖縄県	256 (94.8%)	14 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	14 (5.2%)
合計	41,940 (66.3%)	19,416 (30.7%)	956 (1.5%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	20,372 (32.2%)

＜前回調査：平成27年度＞

過疎地域等	65歳以上割合別 集落数					【再掲】
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%以上
1 北海道	3,036 (78.3%)	682 (17.6%)	23 (0.6%)	135 (3.5%)	3,876 (100.0%)	705 (18.2%)
2 東北圏	12,788 (87.5%)	1,577 (10.8%)	90 (0.6%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)	1,667 (11.4%)
3 首都圏	1,666 (68.8%)	369 (15.2%)	14 (0.6%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)	383 (15.8%)
4 北陸圏	1,299 (71.7%)	478 (26.4%)	34 (1.9%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)	512 (28.3%)
5 中部圏	2,653 (68.0%)	1,018 (26.1%)	44 (1.1%)	189 (4.8%)	3,904 (100.0%)	1,062 (27.2%)
6 近畿圏	2,284 (72.1%)	729 (23.0%)	40 (1.3%)	115 (3.6%)	3,168 (100.0%)	769 (24.3%)
7 中国圏	8,839 (69.1%)	3,641 (28.5%)	219 (1.7%)	95 (0.7%)	12,794 (100.0%)	3,860 (30.2%)
8 四国圏	4,660 (64.9%)	2,264 (31.5%)	162 (2.3%)	91 (1.3%)	7,177 (100.0%)	2,426 (33.8%)
9 九州圏	11,630 (75.6%)	2,988 (19.4%)	108 (0.7%)	659 (4.3%)	15,385 (100.0%)	3,096 (20.1%)
10 沖縄県	244 (86.2%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	7 (2.5%)
合計	49,099 (75.0%)	13,753 (21.0%)	734 (1.1%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	14,487 (22.1%)

※人口は平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口

集落機能の維持状況

- 機能が良好に維持されている集落は78.4%(4万9,603集落)であり、前回調査より割合が減少している。
- 機能低下している集落の割合は17.2%(1万893集落)となっており、前回調査よりやや増えている。また、機能維持が困難な集落の割合は、4.1%(2,618集落)となっており、前回調査とほぼ同じである。
- 前回調査の結果と比較すると、良好に維持されている集落の割合がすべてのブロックで減少しているが、特に首都圏で大きく減少している。

地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数

<今回調査:令和元年度>

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,127 (83.5%)	483 (12.9%)	135 (3.6%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	12,256 (87.1%)	1,584 (11.3%)	213 (1.5%)	14 (0.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	1,420 (68.9%)	579 (28.1%)	61 (3.0%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	1,750 (84.5%)	229 (11.1%)	90 (4.3%)	1 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	2,424 (67.5%)	941 (26.2%)	200 (5.6%)	24 (0.7%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	2,698 (75.2%)	602 (16.8%)	263 (7.3%)	26 (0.7%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	9,153 (74.0%)	2,710 (21.9%)	479 (3.9%)	26 (0.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	4,932 (70.8%)	1,336 (19.2%)	682 (9.8%)	20 (0.3%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	11,616 (80.1%)	2,389 (16.5%)	492 (3.4%)	11 (0.1%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	227 (84.1%)	40 (14.8%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

<前回調査:平成27年度>

過疎地域等	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,250 (83.8%)	438 (11.3%)	163 (4.2%)	25 (0.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,082 (89.5%)	1,327 (9.1%)	186 (1.3%)	23 (0.2%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1,992 (82.2%)	269 (11.1%)	162 (6.7%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,547 (85.4%)	176 (9.7%)	89 (4.9%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	2,831 (72.5%)	793 (20.3%)	237 (6.1%)	43 (1.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	2,399 (75.7%)	524 (16.5%)	236 (7.4%)	9 (0.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	10,081 (78.8%)	2,039 (15.9%)	582 (4.5%)	92 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	5,234 (72.9%)	1,272 (17.7%)	664 (9.3%)	7 (0.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	13,056 (84.9%)	1,732 (11.3%)	480 (3.1%)	117 (0.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	249 (88.0%)	31 (11.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

※「集落機能」…資源管理機能(水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能)、生産補完機能(農林水産業等の生産に際しての草刈り、道普請などの相互扶助機能)及び生活扶助機能(冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能)を指す。

※機能の維持状況は、次の区分から市町村において判断している。

「良好」: 全体的にみて集落機能が良好に維持されている集落。

「機能低下」: 全体的にみて集落機能が低下している集落。

「機能維持困難」: 全体的にみて集落機能の維持が困難になっている集落。

集落機能が低下・機能維持困難な集落の特性①

- 集落機能が低下又は機能維持が困難な集落では、人口・世帯数ともに小規模な集落や高齢化率の高い集落の割合がより高くなる傾向がみられる。

(前回調査の結果と比較すると、人口規模が50人未満の集落の割合が30.2%から33.5%に増加している。また、65歳以上の割合が50%以上である集落の割合が22.1%から32.2%に増加しており、これらが良好に維持されている集落の割合が減少した背景と考えられる。)

人口規模等別・集落機能の維持状況別 集落数

<今回調査:令和元年度>

<前回調査:平成27年度>

過疎地域		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
人口規模	～9	660 (1.3%)	901 (8.3%)	1,107 (42.3%)	10 (8.1%)	2,678 (4.2%)
	10～24	3,479 (7.0%)	2,577 (23.7%)	845 (32.3%)	13 (10.6%)	6,914 (10.9%)
	25～49	8,467 (17.1%)	2,683 (24.6%)	427 (16.3%)	17 (13.8%)	11,594 (18.3%)
	50～99	13,132 (26.5%)	2,129 (19.5%)	143 (5.5%)	24 (19.5%)	15,428 (24.4%)
	100～199	12,175 (24.5%)	1,365 (12.5%)	49 (1.9%)	20 (16.3%)	13,609 (21.5%)
	200～499	8,467 (17.1%)	786 (7.2%)	14 (0.5%)	25 (20.3%)	9,292 (14.7%)
	500～999	2,026 (4.1%)	198 (1.8%)	3 (0.1%)	6 (4.9%)	2,233 (3.5%)
	1000～	830 (1.7%)	80 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	911 (1.4%)
世帯数規模	～9	2,957 (6.0%)	2,600 (23.9%)	1,664 (63.6%)	15 (12.2%)	7,236 (11.4%)
	10～19	8,186 (16.5%)	3,064 (28.1%)	587 (22.4%)	15 (12.2%)	11,852 (18.7%)
	20～29	7,626 (15.4%)	1,533 (14.1%)	172 (6.6%)	9 (7.3%)	9,340 (14.8%)
	30～49	10,172 (20.5%)	1,418 (13.0%)	99 (3.8%)	17 (13.8%)	11,706 (18.5%)
	50～99	10,945 (22.1%)	1,237 (11.4%)	46 (1.8%)	31 (25.2%)	12,259 (19.4%)
	100～199	5,844 (11.8%)	572 (5.3%)	16 (0.6%)	19 (15.4%)	6,451 (10.2%)
	200～499	2,745 (5.5%)	286 (2.6%)	4 (0.2%)	10 (8.1%)	3,045 (4.8%)
	500～	721 (1.5%)	66 (0.6%)	1 (0.0%)	1 (0.8%)	789 (1.2%)
65歳以上割合	100%	260 (0.5%)	229 (2.1%)	450 (17.2%)	17 (13.8%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	819 (1.7%)	881 (8.1%)	484 (18.5%)	8 (6.5%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	11,490 (23.2%)	4,683 (43.0%)	1,038 (39.6%)	13 (10.6%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	33,268 (67.1%)	4,550 (41.8%)	480 (18.3%)	47 (38.2%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	3,124 (6.3%)	342 (3.1%)	115 (4.4%)	14 (11.4%)	3,595 (5.7%)
75歳以上	100%	61 (0.1%)	63 (0.6%)	212 (8.1%)	3 (2.4%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	1,233 (2.5%)	1,286 (11.8%)	796 (30.4%)	22 (17.9%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	47,667 (96.1%)	9,336 (85.7%)	1,559 (59.5%)	74 (60.2%)	58,636 (92.7%)
全体(割合の基数)		49,603 (100.0%)	10,893 (100.0%)	2,618 (100.0%)	123 (100.0%)	63,237 (100.0%)

※不明・無回答は掲載していない

過疎地域等		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
人口規模	～9	555 (1.0%)	655 (7.6%)	1,068 (38.2%)	13 (4.1%)	2,291 (3.5%)
	10～24	3,267 (6.1%)	1,909 (22.2%)	854 (30.5%)	29 (9.1%)	6,059 (9.3%)
	25～49	8,606 (16.0%)	2,250 (26.2%)	484 (17.3%)	54 (16.9%)	11,394 (17.4%)
	50～99	13,742 (25.6%)	1,816 (21.1%)	223 (8.0%)	77 (24.1%)	15,858 (24.2%)
	100～199	13,424 (25.0%)	1,135 (13.2%)	102 (3.6%)	65 (20.4%)	14,726 (22.5%)
	200～499	9,911 (18.4%)	592 (6.9%)	40 (1.4%)	25 (7.8%)	10,568 (16.1%)
	500～999	2,587 (4.8%)	133 (1.5%)	14 (0.5%)	4 (1.3%)	2,738 (4.2%)
	1000～	1,023 (1.9%)	64 (0.7%)	3 (0.1%)	5 (1.6%)	1,095 (1.7%)
	世帯数規模	～9	3,010 (5.6%)	2,004 (23.3%)	1,667 (59.6%)	30 (9.4%)
10～19		8,726 (16.2%)	2,490 (29.0%)	611 (21.8%)	50 (15.7%)	11,877 (18.1%)
20～29		7,991 (14.9%)	1,263 (14.7%)	219 (7.8%)	35 (11.0%)	9,508 (14.5%)
30～49		10,791 (20.1%)	1,177 (13.7%)	138 (4.9%)	50 (15.7%)	12,156 (18.6%)
50～99		11,585 (21.6%)	934 (10.9%)	82 (2.9%)	54 (16.9%)	12,655 (19.3%)
100～199		6,389 (11.9%)	387 (4.5%)	40 (1.4%)	9 (2.8%)	6,825 (10.4%)
200～499		3,177 (5.9%)	187 (2.2%)	16 (0.6%)	7 (2.2%)	3,387 (5.2%)
500～		779 (1.5%)	42 (0.5%)	2 (0.1%)	3 (0.9%)	826 (1.3%)
65歳以上割合		100%	222 (0.4%)	121 (1.4%)	377 (13.5%)	14 (4.4%)
	75%以上100%未満	593 (1.1%)	553 (6.4%)	477 (17.0%)	5 (1.6%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	7,751 (14.4%)	3,266 (38.0%)	1,063 (38.0%)	45 (14.1%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	38,899 (72.4%)	4,128 (48.0%)	690 (24.7%)	156 (48.9%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	4,726 (8.8%)	324 (3.8%)	158 (5.6%)	18 (5.6%)	5,226 (8.0%)
75歳以上	100%	44 (0.1%)	43 (0.5%)	190 (6.8%)	3 (0.9%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	1,085 (2.0%)	977 (11.4%)	827 (29.5%)	20 (6.3%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	51,056 (95.0%)	7,372 (85.7%)	1,748 (62.5%)	215 (67.4%)	60,391 (92.3%)
全体(割合の基数)		53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

※不明等は掲載していない

集落機能が低下・機能維持困難な集落の特性②

- 集落特性を比較すると、集落機能が低下又は機能維持が困難な集落は、「基礎集落」、「山間地」の集落、「本庁までの距離が遠い(20キロ以上)」集落、「地形的に末端にある」集落の割合が高くなっている。
- 前回調査の結果と比較すると、この傾向に大きな変化はない。

集落類型等別・集落の維持状況別 集落数

<今回調査:令和元年度>

過疎地域		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	39,896 (80.4%)	9,530 (87.5%)	2,522 (96.3%)	97 (78.9%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	5,687 (11.5%)	765 (7.0%)	68 (2.6%)	14 (11.4%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	3,584 (7.2%)	389 (3.6%)	8 (0.3%)	5 (4.1%)	3,986 (6.3%)
地域区分	山間地	12,383 (25.0%)	5,528 (50.7%)	1,979 (75.6%)	42 (34.1%)	19,932 (31.5%)
	中間地	15,068 (30.4%)	3,165 (29.1%)	488 (18.6%)	18 (14.6%)	18,739 (29.6%)
	平地	17,683 (35.6%)	1,809 (16.6%)	135 (5.2%)	51 (41.5%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	4,100 (8.3%)	316 (2.9%)	7 (0.3%)	1 (0.8%)	4,424 (7.0%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	17,009 (34.3%)	2,020 (18.5%)	204 (7.8%)	40 (32.5%)	19,273 (30.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	11,780 (23.7%)	1,931 (17.7%)	412 (15.7%)	10 (8.1%)	14,133 (22.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	12,260 (24.7%)	3,451 (31.7%)	878 (33.5%)	21 (17.1%)	16,610 (26.3%)
	20 ^{キロ} 以上	8,108 (16.3%)	3,440 (31.6%)	1,118 (42.7%)	40 (32.5%)	12,706 (20.1%)
地形	地形的末端である	2,027 (4.1%)	1,162 (10.7%)	707 (27.0%)	4 (3.3%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	47,576 (95.9%)	9,731 (89.3%)	1,911 (73.0%)	119 (96.7%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		49,603 (100.0%)	10,893 (100.0%)	2,618 (100.0%)	123 (100.0%)	63,237 (100.0%)

※不明・無回答は掲載していない

<前回調査:平成27年度>

過疎地域等		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	43,564 (81.1%)	7,600 (88.4%)	2,709 (96.8%)	203 (63.6%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	6,076 (11.3%)	631 (7.3%)	72 (2.6%)	27 (8.5%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	3,853 (7.2%)	321 (3.7%)	9 (0.3%)	23 (7.2%)	4,206 (6.4%)
地域区分	山間地	13,078 (24.3%)	4,692 (54.6%)	2,127 (76.0%)	134 (42.0%)	20,031 (30.6%)
	中間地	16,072 (29.9%)	2,531 (29.4%)	501 (17.9%)	70 (21.9%)	19,174 (29.3%)
	平地	19,449 (36.2%)	1,072 (12.5%)	149 (5.3%)	55 (17.2%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	4,860 (9.0%)	280 (3.3%)	19 (0.7%)	12 (3.8%)	5,171 (7.9%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	18,104 (33.7%)	1,399 (16.3%)	252 (9.0%)	57 (17.9%)	19,812 (30.3%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	12,504 (23.3%)	1,499 (17.4%)	465 (16.6%)	41 (12.9%)	14,509 (22.2%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	13,338 (24.8%)	2,741 (31.9%)	902 (32.2%)	87 (27.3%)	17,068 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	9,001 (16.8%)	2,942 (34.2%)	1,177 (42.1%)	49 (15.4%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	2,253 (4.2%)	1,012 (11.8%)	756 (27.0%)	12 (3.8%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	51,468 (95.8%)	7,589 (88.2%)	2,043 (73.0%)	307 (96.2%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

※不明等は掲載していない

- ※「基礎集落」:地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落。
- 「基幹集落」:基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存在する集落。
- 「中心集落」:地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落。

※「地理的末端である」:調査時点における地形的な行き止まり集落。

- ※「山間地」:山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
- 「中間地」:中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。
- 「平地」:平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。
- 「都市的地域」:都市的地域。DID面積のある集落。

今後の集落の動向

- 今後10年以内に消滅(無人化)する可能性がある集落は0.7% (454集落)であり、いずれ消滅(無人化)すると予測されている集落は4.3% (2,744集落)となっている。
- 前回調査の結果と比較すると、この傾向に大きな変化はない。

地方ブロック別・集落の消滅(無人化)可能性別 集落数

<今回調査:令和元年度>

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	14 (0.4%)	219 (5.8%)	3,131 (83.6%)	382 (10.2%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	54 (0.4%)	385 (2.7%)	12,859 (91.4%)	769 (5.5%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	7 (0.3%)	90 (4.4%)	1,753 (85.1%)	210 (10.2%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	23 (1.1%)	74 (3.6%)	1,914 (92.5%)	59 (2.9%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	36 (1.0%)	265 (7.4%)	2,807 (78.2%)	481 (13.4%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	29 (0.8%)	199 (5.5%)	3,182 (88.7%)	179 (5.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	60 (0.5%)	380 (3.1%)	11,159 (90.2%)	769 (6.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	162 (2.3%)	570 (8.2%)	5,208 (74.7%)	1,030 (14.8%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	69 (0.5%)	561 (3.9%)	12,165 (83.9%)	1,713 (11.8%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	1 (0.4%)	263 (97.4%)	6 (2.2%)	270 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

<前回調査:平成27年度>

過疎地域等	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	22 (0.6%)	227 (5.9%)	3,265 (84.2%)	362 (9.3%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	43 (0.3%)	385 (2.6%)	13,199 (90.3%)	991 (6.8%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.7%)	78 (3.2%)	1,954 (80.6%)	375 (15.5%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	22 (1.2%)	63 (3.5%)	1,622 (89.5%)	105 (5.8%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	37 (0.9%)	267 (6.8%)	2,802 (71.8%)	798 (20.4%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	31 (1.0%)	202 (6.4%)	2,564 (80.9%)	371 (11.7%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	85 (0.7%)	432 (3.4%)	11,772 (92.0%)	505 (3.9%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	189 (2.6%)	602 (8.4%)	6,305 (87.9%)	81 (1.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	70 (0.5%)	441 (2.9%)	13,360 (86.8%)	1,514 (9.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	276 (97.5%)	7 (2.5%)	283 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

※集落の消滅可能性は、次の区分から市町村において判断している。

「10年以内に消滅」: 今後、10年以内に消滅(無人化)する可能性のある集落。

「いずれ消滅」: 今後、いずれは消滅(無人化)する可能性のある集落。

「当面存続」: 消滅(無人化)する可能性がない(当面存続すると見込まれる)集落。

消滅(無人化)の可能性がある集落の特性①

- 消滅(無人化)の可能性がある集落では、当面存続するとみられる集落と比べて、人口・世帯数ともに小規模な集落や高齢化率が高い集落の割合がより高くなる傾向がみられる。

(前回調査の結果と比較すると、人口規模が50人未満の集落の割合が30.2%から33.5%に増加している。また、65歳以上の割合が50%以上である集落の割合が22.1%から32.2%に増加しており、これらが当面存続すると見込まれる集落の割合が減少した背景と考えられる。)

人口規模等別・集落の消滅(無人化)可能性別 集落数

<今回調査:令和元年度>

<前回調査:平成27年度>

過疎地域		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
人口規模	～9	367 (80.8%)	956 (34.8%)	1,213 (2.2%)	142 (2.5%)	2,678 (4.2%)
	10～24	65 (14.3%)	981 (35.8%)	5,243 (9.6%)	625 (11.2%)	6,914 (10.9%)
	25～49	15 (3.3%)	432 (15.7%)	9,906 (18.2%)	1,241 (22.2%)	11,594 (18.3%)
	50～99	3 (0.7%)	204 (7.4%)	13,809 (25.4%)	1,412 (25.2%)	15,428 (24.4%)
	100～199	1 (0.2%)	102 (3.7%)	12,432 (22.8%)	1,074 (19.2%)	13,609 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	47 (1.7%)	8,537 (15.7%)	708 (12.6%)	9,292 (14.7%)
	500～999	0 (0.0%)	3 (0.1%)	2,047 (3.8%)	183 (3.3%)	2,233 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	849 (1.6%)	62 (1.1%)	911 (1.4%)
世帯数規模	～9	410 (90.3%)	1,588 (57.9%)	4,716 (8.7%)	522 (9.3%)	7,236 (11.4%)
	10～19	24 (5.3%)	649 (23.7%)	10,011 (18.4%)	1,168 (20.9%)	11,852 (18.7%)
	20～29	8 (1.8%)	183 (6.7%)	8,238 (15.1%)	911 (16.3%)	9,340 (14.8%)
	30～49	3 (0.7%)	155 (5.6%)	10,459 (19.2%)	1,089 (19.5%)	11,706 (18.5%)
	50～99	1 (0.2%)	114 (4.2%)	11,144 (20.5%)	1,000 (17.9%)	12,259 (19.4%)
	100～199	0 (0.0%)	23 (0.8%)	5,896 (10.8%)	532 (9.5%)	6,451 (10.2%)
	200～499	0 (0.0%)	5 (0.2%)	2,767 (5.1%)	273 (4.9%)	3,045 (4.8%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	732 (1.3%)	57 (1.0%)	789 (1.2%)
65歳以上割合	100%	219 (48.2%)	301 (11.0%)	400 (0.7%)	36 (0.6%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	87 (19.2%)	543 (19.8%)	1,391 (2.6%)	171 (3.1%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	98 (21.6%)	1,223 (44.6%)	14,266 (26.2%)	1,637 (29.2%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	31 (6.8%)	551 (20.1%)	34,673 (63.7%)	3,090 (55.2%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	16 (3.5%)	83 (3.0%)	3,139 (5.8%)	357 (6.4%)	3,595 (5.7%)
75歳以上	100%	140 (30.8%)	91 (3.3%)	102 (0.2%)	6 (0.1%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	169 (37.2%)	854 (31.1%)	2,060 (3.8%)	254 (4.5%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	142 (31.3%)	1,756 (64.0%)	51,707 (95.0%)	5,031 (89.9%)	58,636 (92.7%)
全体(割合の基数)		454 (100.0%)	2,744 (100.0%)	54,441 (100.0%)	5,598 (100.0%)	63,237 (100.0%)

※不明・無回答は掲載していない

過疎地域等		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
人口規模	～9	410 (79.6%)	906 (33.6%)	888 (1.6%)	87 (1.7%)	2,291 (3.5%)
	10～24	77 (15.0%)	992 (36.8%)	4,491 (7.9%)	499 (9.8%)	6,059 (9.3%)
	25～49	16 (3.1%)	455 (16.9%)	9,738 (17.0%)	1,185 (23.2%)	11,394 (17.4%)
	50～99	2 (0.4%)	164 (6.1%)	14,329 (25.1%)	1,363 (26.7%)	15,858 (24.2%)
	100～199	1 (0.2%)	89 (3.3%)	13,581 (23.8%)	1,055 (20.6%)	14,726 (22.5%)
	200～499	0 (0.0%)	61 (2.3%)	9,848 (17.2%)	659 (12.9%)	10,568 (16.1%)
	500～999	0 (0.0%)	9 (0.3%)	2,583 (4.5%)	146 (2.9%)	2,738 (4.2%)
	1000～	0 (0.0%)	3 (0.1%)	1,008 (1.8%)	84 (1.6%)	1,095 (1.7%)
世帯数規模	～9	458 (88.9%)	1,582 (58.7%)	4,226 (7.4%)	445 (8.7%)	6,711 (10.3%)
	10～19	36 (7.0%)	635 (23.5%)	10,062 (17.6%)	1,144 (22.4%)	11,877 (18.1%)
	20～29	4 (0.8%)	190 (7.0%)	8,478 (14.8%)	836 (16.4%)	9,508 (14.5%)
	30～49	3 (0.6%)	92 (3.4%)	11,099 (19.4%)	962 (18.8%)	12,156 (18.6%)
	50～99	0 (0.0%)	89 (3.3%)	11,641 (20.4%)	925 (18.1%)	12,655 (19.3%)
	100～199	0 (0.0%)	26 (1.0%)	6,397 (11.2%)	402 (7.9%)	6,825 (10.4%)
	200～499	0 (0.0%)	8 (0.3%)	3,192 (5.6%)	187 (3.7%)	3,387 (5.2%)
	500～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	765 (1.3%)	59 (1.2%)	826 (1.3%)
65歳以上割合	100%	213 (41.4%)	232 (8.6%)	259 (0.5%)	30 (0.6%)	734 (1.1%)
	75%以上100%未満	88 (17.1%)	525 (19.5%)	905 (1.6%)	110 (2.2%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	123 (23.9%)	1,093 (40.5%)	9,767 (17.1%)	1,142 (22.4%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	40 (7.8%)	634 (23.5%)	40,017 (70.1%)	3,182 (62.3%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	36 (7.0%)	116 (4.3%)	4,677 (8.2%)	397 (7.8%)	5,226 (8.0%)
75歳以上	100%	135 (26.2%)	81 (3.0%)	54 (0.1%)	10 (0.2%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	196 (38.1%)	830 (30.8%)	1,683 (2.9%)	200 (3.9%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	169 (32.8%)	1,689 (62.6%)	53,882 (94.3%)	4,651 (91.0%)	60,391 (92.3%)
全体(割合の基数)		515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

※不明等は掲載していない

消滅(無人化)の可能性がある集落の特性②

- 消滅(無人化)の可能性がある集落は、当面存続するとみられる集落と比べて、「基礎集落」や「山間地」の集落、「本庁までの距離が遠い(20キロ以上)」集落、「地形的に末端にある」集落の割合が高くなっている。
- 前回調査の結果と比較すると、この傾向に大きな変化はない。

集落類型等別・集落の消滅(無人化)可能性別 集落数

<今回調査:令和元年度>

<前回調査:平成27年度>

過疎地域		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	446 (98.2%)	2,612 (95.2%)	44,202 (81.2%)	4,785 (85.5%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	4 (0.9%)	77 (2.8%)	5,920 (10.9%)	533 (9.5%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	0 (0.0%)	31 (1.1%)	3,700 (6.8%)	255 (4.6%)	3,986 (6.3%)
地域区分	山間地	371 (81.7%)	1,902 (69.3%)	15,929 (29.3%)	1,730 (30.9%)	19,932 (31.5%)
	中間地	58 (12.8%)	551 (20.1%)	16,429 (30.2%)	1,701 (30.4%)	18,739 (29.6%)
	平地	22 (4.8%)	234 (8.5%)	17,841 (32.8%)	1,581 (28.2%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	1 (0.2%)	40 (1.5%)	3,828 (7.0%)	555 (9.9%)	4,424 (7.0%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	20 (4.4%)	235 (8.6%)	17,024 (31.3%)	1,994 (35.6%)	19,273 (30.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	68 (15.0%)	488 (17.8%)	12,284 (22.6%)	1,293 (23.1%)	14,133 (22.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	149 (32.8%)	993 (36.2%)	14,183 (26.1%)	1,285 (23.0%)	16,610 (26.3%)
	20 ^{キロ} 以上	214 (47.1%)	1,011 (36.8%)	10,537 (19.4%)	944 (16.9%)	12,706 (20.1%)
地形	地形的末端である	180 (39.6%)	664 (24.2%)	2,792 (5.1%)	264 (4.7%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	274 (60.4%)	2,080 (75.8%)	51,649 (94.9%)	5,334 (95.3%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		454 (100.0%)	2,744 (100.0%)	54,441 (100.0%)	5,598 (100.0%)	63,237 (100.0%)

※不明・無回答は掲載していない

過疎地域等		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	509 (98.8%)	2,599 (96.4%)	46,810 (82.0%)	4,158 (81.4%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	2 (0.4%)	62 (2.3%)	6,183 (10.8%)	559 (10.9%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	0 (0.0%)	23 (0.9%)	3,896 (6.8%)	287 (5.6%)	4,206 (6.4%)
地域区分	山間地	436 (84.7%)	1,972 (73.1%)	16,050 (28.1%)	1,573 (30.8%)	20,031 (30.6%)
	中間地	51 (9.9%)	515 (19.1%)	17,022 (29.8%)	1,586 (31.0%)	19,174 (29.3%)
	平地	23 (4.5%)	181 (6.7%)	18,933 (33.1%)	1,588 (31.1%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	5 (1.0%)	23 (0.9%)	4,878 (8.5%)	265 (5.2%)	5,171 (7.9%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	23 (4.5%)	220 (8.2%)	17,967 (31.5%)	1,602 (31.4%)	19,812 (30.3%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	77 (15.0%)	500 (18.5%)	12,744 (22.3%)	1,188 (23.3%)	14,509 (22.2%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	176 (34.2%)	940 (34.9%)	14,533 (25.4%)	1,419 (27.8%)	17,068 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	239 (46.4%)	1,035 (38.4%)	11,060 (19.4%)	835 (16.3%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	206 (40.0%)	736 (27.3%)	2,850 (5.0%)	241 (4.7%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	309 (60.0%)	1,961 (72.7%)	54,269 (95.0%)	4,868 (95.3%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

※不明等は掲載していない

- ※「基礎集落」: 地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落。
- 「基幹集落」: 基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存在する集落。
- 「中心集落」: 地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落。

- ※「山間地」: 山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
- 「中間地」: 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。
- 「平地」: 平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。
- 「都市的地域」: 都市的地域。DID面積のある集落。

- ※「地理的末端である」: 調査時点における地形的な行き止まり集落。

前回調査で「10年以内に消滅(無人化)」とされていた集落の状況①

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に「10年以内に消滅(無人化)する可能性がある」と予測されていた508集落のうち、今回調査までの4年間で実際に消滅(無人化)したのは47集落(9.3%)となっている。

地方ブロック別・前回調査時に「10年以内に消滅(無人化)」と予測されていた集落の変遷

過疎地域 前回調査の 過疎地域	10年以内に消滅 と予測 (A)	消滅集落 (B)	集落再編により減少した集落			現存している 集落 (A-B-C)
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)	
1 北海道	22 (100.0%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (86.4%)
2 東北圏	43 (100.0%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (88.4%)
3 首都圏	13 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
4 北陸圏	21 (100.0%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (71.4%)
5 中部圏	36 (100.0%)	1 (2.8%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (5.6%)	33 (91.7%)
6 近畿圏	31 (100.0%)	4 (12.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (87.1%)
7 中国圏	84 (100.0%)	8 (9.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	75 (89.3%)
8 四国圏	188 (100.0%)	12 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	176 (93.6%)
9 九州圏	70 (100.0%)	8 (11.4%)	2 (2.9%)	2 (2.9%)	4 (5.7%)	58 (82.9%)
10 沖縄県	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	508 (100.0%)	47 (9.3%)	5 (1.0%)	2 (0.4%)	7 (1.4%)	454 (89.4%)

※前回調査時(H27.4.1現在)の過疎地域のうち、回答のあった794市町村における集落において、「10年以内に消滅(無人化)する可能性がある」と予測された集落(508集落)を対象。

※「他に編入」:他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落
「分離」:複数の集落に分かれて合併した集落

「他と合併」:他の集落とともに新しい名称の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更)

前回調査で「10年以内に消滅(無人化)」とされていた集落の状況②

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に「10年以内に消滅(無人化)する可能性がある」と予測されながら現在も存続している集落の8割以上は、10人未満・10世帯未満の小規模集落である。

人口規模等別・前回調査時の消滅(無人化)可能性の予測別 集落数

過疎地域 前回調査の過疎地域		前回調査(H27調査)時における集落の消滅可能性の予測別 集落数							
		10年以内に消滅と予測 (現在存続)		いずれ消滅と予測 (現在存続)		その他の集落		計	
人口規模	～9	369	(81.3%)	961	(38.0%)	1,315	(2.2%)	2,645	(4.3%)
	10～24	51	(11.2%)	899	(35.5%)	5,880	(10.0%)	6,830	(11.1%)
	25～49	11	(2.4%)	338	(13.3%)	11,071	(18.9%)	11,420	(18.6%)
	50～99	7	(1.5%)	130	(5.1%)	14,999	(25.6%)	15,136	(24.6%)
	100～199	1	(0.2%)	85	(3.4%)	13,072	(22.3%)	13,158	(21.4%)
	200～499	0	(0.0%)	54	(2.1%)	8,762	(15.0%)	8,816	(14.3%)
	500～999	0	(0.0%)	7	(0.3%)	2,071	(3.5%)	2,078	(3.4%)
	1000～	0	(0.0%)	4	(0.2%)	846	(1.4%)	850	(1.4%)
世帯数規模	～9	408	(89.9%)	1,578	(62.3%)	5,153	(8.8%)	7,139	(11.6%)
	10～19	23	(5.1%)	521	(20.6%)	11,138	(19.0%)	11,682	(19.0%)
	20～29	3	(0.7%)	140	(5.5%)	9,011	(15.4%)	9,154	(14.9%)
	30～49	7	(1.5%)	90	(3.6%)	11,323	(19.3%)	11,420	(18.6%)
	50～99	0	(0.0%)	101	(4.0%)	11,697	(20.0%)	11,798	(19.2%)
	100～199	0	(0.0%)	29	(1.1%)	6,118	(10.5%)	6,147	(10.0%)
	200～499	0	(0.0%)	9	(0.4%)	2,856	(4.9%)	2,865	(4.7%)
	500～	0	(0.0%)	2	(0.1%)	745	(1.3%)	747	(1.2%)
65歳以上割合	100%	215	(47.4%)	316	(12.5%)	406	(0.7%)	937	(1.5%)
	75%以上100%未満	63	(13.9%)	512	(20.2%)	1,594	(2.7%)	2,169	(3.5%)
	50%以上75%未満	105	(23.1%)	1,023	(40.4%)	15,852	(27.1%)	16,980	(27.6%)
	25%以上50%未満	32	(7.0%)	498	(19.7%)	36,491	(62.4%)	37,021	(60.2%)
	25%未満	24	(5.3%)	102	(4.0%)	3,353	(5.7%)	3,479	(5.7%)
75歳以上	100%	126	(27.8%)	98	(3.9%)	105	(0.2%)	329	(0.5%)
	50%以上100%未満	163	(35.9%)	793	(31.3%)	2,349	(4.0%)	3,305	(5.4%)
	50%未満	150	(33.0%)	1,560	(61.6%)	55,242	(94.4%)	56,952	(92.6%)
全体(割合の基数)		454	(100.0%)	2,532	(100.0%)	58,525	(100.0%)	61,511	(100.0%)

過疎地域 前回調査の過疎地域		前回調査(H27調査)時における集落の消滅可能性の予測別 集落数							
		10年以内に消滅と予測 (現在存続)		いずれ消滅と予測 (現在存続)		その他の集落		計	
集落類型	基礎集落	444	(97.8%)	2,426	(95.8%)	47,779	(81.6%)	50,649	(82.3%)
	基幹集落	3	(0.7%)	58	(2.3%)	6,302	(10.8%)	6,363	(10.3%)
	中心集落	0	(0.0%)	22	(0.9%)	3,813	(6.5%)	3,835	(6.2%)
地域区分	山間地	382	(84.1%)	1,857	(73.3%)	17,304	(29.6%)	19,543	(31.8%)
	中間地	43	(9.5%)	470	(18.6%)	17,684	(30.2%)	18,197	(29.6%)
	平地	21	(4.6%)	172	(6.8%)	18,942	(32.4%)	19,135	(31.1%)
	都市的地域	4	(0.9%)	24	(0.9%)	4,144	(7.1%)	4,172	(6.8%)
本庁までの距離	5 ^{世帯} 未満	20	(4.4%)	209	(8.3%)	18,153	(31.0%)	18,382	(29.9%)
	5 ^{世帯} 以上10 ^{世帯} 未満	70	(15.4%)	460	(18.2%)	13,029	(22.3%)	13,559	(22.0%)
	10 ^{世帯} 以上20 ^{世帯} 未満	152	(33.5%)	888	(35.1%)	15,333	(26.2%)	16,373	(26.6%)
	20 ^{世帯} 以上	207	(45.6%)	962	(38.0%)	11,514	(19.7%)	12,683	(20.6%)
地形	地形的末端である	175	(38.5%)	677	(26.7%)	2,968	(5.1%)	3,820	(6.2%)
	地形的末端でない	279	(61.5%)	1,855	(73.3%)	55,557	(94.9%)	57,691	(93.8%)
全体(割合の基数)		454	(100.0%)	2,532	(100.0%)	58,525	(100.0%)	61,511	(100.0%)

今後の集落機能の維持・再編成の見通し

- 過疎地域において、何らかの集落機能の再編成が予定されている集落は、1.2%（730集落）となっている。
- 前回調査の結果と比較すると、この傾向に大きな変化はないが、東北圏で行政的再編を予定する集落の割合が増えている。

地方ブロック別・今後の集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

<今回調査：令和元年度>

<前回調査：平成27年度>

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	5 (0.1%)	6 (0.2%)	113 (3.0%)	3,621 (96.7%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	1 (0.0%)	115 (0.8%)	89 (0.6%)	599 (4.3%)	12,975 (92.2%)	288 (2.0%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	75 (3.6%)	1,985 (96.4%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,992 (96.2%)	78 (3.8%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (1.0%)	273 (7.6%)	3,245 (90.4%)	36 (1.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	115 (3.2%)	0 (0.0%)	3,343 (93.1%)	131 (3.7%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2 (0.0%)	26 (0.2%)	109 (0.9%)	495 (4.0%)	10,917 (88.3%)	819 (6.6%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	8 (0.1%)	3 (0.0%)	221 (3.2%)	6,735 (96.6%)	3 (0.0%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	101 (0.7%)	110 (0.8%)	1,183 (8.2%)	13,051 (90.0%)	63 (0.4%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	265 (98.1%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

過疎地域等	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	7 (0.2%)	7 (0.2%)	109 (2.8%)	3,686 (95.1%)	67 (1.7%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	6 (0.0%)	24 (0.2%)	84 (0.6%)	367 (2.5%)	14,072 (96.3%)	65 (0.4%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	79 (3.3%)	2,342 (96.7%)	1 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,811 (99.9%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	7 (0.2%)	36 (0.9%)	479 (12.3%)	3,280 (84.0%)	102 (2.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	119 (3.8%)	25 (0.8%)	3,020 (95.3%)	4 (0.1%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	5 (0.0%)	30 (0.2%)	67 (0.5%)	692 (5.4%)	11,006 (86.0%)	994 (7.8%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	14 (0.2%)	64 (0.9%)	169 (2.4%)	6,777 (94.4%)	153 (2.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	163 (1.1%)	76 (0.5%)	1,143 (7.4%)	13,927 (90.5%)	76 (0.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	248 (87.6%)	34 (12.0%)	283 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

※「空間的移転」：既存集落への集団移転、複数集落の移転による新規集落の形成などの空間的な移転が予定されている集落

「行政的再編」：近隣集落との統合・合併や市町村行政において扱う行政区の見直し・再編などが予定されている集落

「機能の再編」：現在の集落構成は維持しつつ、複数集落による連携を通して機能面での再編成が予定されている集落

転入者の状況

- 過疎地域の集落の中で、平成27年以降に転入者がいる集落は40.3%（25,481集落）となっている。（転入状況が「わからない」集落（30,644集落）を除くと78.2%（前回調査は81.5%））
- 前回調査の結果と比較すると、ほぼ横ばいである。

地方ブロック別・転入者の有無別 集落数

<今回調査：令和元年度>

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,505 (40.2%)	375 (10.0%)	1,845 (49.3%)	21 (0.6%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	5,158 (36.7%)	843 (6.0%)	7,849 (55.8%)	217 (1.5%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	651 (31.6%)	73 (3.5%)	1,308 (63.5%)	28 (1.4%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	1,243 (60.0%)	215 (10.4%)	589 (28.5%)	23 (1.1%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	1,830 (51.0%)	473 (13.2%)	1,072 (29.9%)	214 (6.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,959 (54.6%)	314 (8.7%)	1,303 (36.3%)	13 (0.4%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	4,098 (33.1%)	918 (7.4%)	6,624 (53.6%)	728 (5.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	2,542 (36.5%)	942 (13.5%)	3,365 (48.3%)	121 (1.7%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	6,294 (43.4%)	1,222 (8.4%)	6,646 (45.8%)	346 (2.4%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	201 (74.4%)	9 (3.3%)	43 (15.9%)	17 (6.3%)	270 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

<前回調査：平成27年度>

過疎地域等	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,763 (45.5%)	276 (7.1%)	1,656 (42.7%)	181 (4.7%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	5,529 (37.8%)	712 (4.9%)	7,948 (54.4%)	429 (2.9%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	799 (33.0%)	43 (1.8%)	1,377 (56.8%)	204 (8.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,001 (55.2%)	206 (11.4%)	605 (33.4%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	1,792 (45.9%)	296 (7.6%)	1,782 (45.6%)	34 (0.9%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	1,164 (36.7%)	136 (4.3%)	1,847 (58.3%)	21 (0.7%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	4,538 (35.5%)	1,123 (8.8%)	6,953 (54.3%)	180 (1.4%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	3,062 (42.7%)	614 (8.6%)	3,277 (45.7%)	224 (3.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	6,302 (41.0%)	731 (4.8%)	7,949 (51.7%)	403 (2.6%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	89 (31.4%)	8 (2.8%)	78 (27.6%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

※「転入者がいる」：平成27年4月以降に転入し、現在も当該集落に居住している人がいる集落。

「転入者がいない」：平成27年4月以降に転入した人はいない、又は転入した人はいたが転出してしまった集落。

子育て世帯の転入の状況

- 過疎地域の集落の中で、平成27年以降に転入した世帯のうち高校生以下の子どもがいる世帯（以下「子育て世帯」という。）がある集落は22.2%（14,051集落）となっている。（転入状況が「わからない」集落（30,831集落）を除くと43.5%（前回調査は49.4%））
- 前回調査の結果と比較すると、やや減少している。

地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

<今回調査：令和元年度>

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	1,032 (27.5%)	740 (19.8%)	1,642 (43.8%)	332 (8.9%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	2,446 (17.4%)	2,568 (18.3%)	8,232 (58.5%)	821 (5.8%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	389 (18.9%)	327 (15.9%)	1,298 (63.0%)	46 (2.2%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	601 (29.0%)	756 (36.5%)	462 (22.3%)	251 (12.1%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	879 (24.5%)	932 (26.0%)	1,277 (35.6%)	501 (14.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,069 (29.8%)	895 (24.9%)	1,466 (40.8%)	159 (4.4%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,084 (16.8%)	1,994 (16.1%)	6,924 (56.0%)	1,366 (11.0%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,330 (19.1%)	1,849 (26.5%)	3,396 (48.7%)	395 (5.7%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	4,138 (28.5%)	3,440 (23.7%)	6,063 (41.8%)	867 (6.0%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	83 (30.7%)	16 (5.9%)	152 (56.3%)	19 (7.0%)	270 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

<前回調査：平成27年度>

過疎地域等	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	1,093 (28.2%)	430 (11.1%)	1,708 (44.1%)	645 (16.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	3,403 (23.3%)	2,484 (17.0%)	7,856 (53.7%)	875 (6.0%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	360 (14.9%)	200 (8.3%)	1,614 (66.6%)	249 (10.3%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	505 (27.9%)	555 (30.6%)	582 (32.1%)	170 (9.4%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	997 (25.5%)	649 (16.6%)	2,116 (54.2%)	142 (3.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	763 (24.1%)	512 (16.2%)	1,663 (52.5%)	230 (7.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	2,916 (22.8%)	2,156 (16.9%)	6,021 (47.1%)	1,701 (13.3%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	1,702 (23.7%)	1,675 (23.3%)	3,243 (45.2%)	557 (7.8%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	4,530 (29.4%)	2,390 (15.5%)	7,431 (48.3%)	1,034 (6.7%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	80 (28.3%)	15 (5.3%)	80 (28.3%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

※「子育て世帯の転入がある」：平成27年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいる世帯がある集落。

「子育て世帯の転入はない」：平成27年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいる世帯はないという集落。

サポート人材の活動状況①

- 集落支援員や地域おこし協力隊などのサポート人材が活動する集落の状況をみると、過疎地域の集落では、20.3%(12,851集落)で集落支援員が、また21.7%(13,740集落)で地域おこし協力隊等が活動している。
- 前回調査の結果と比較すると、サポート人材が活動する集落の割合が増えている。このうち、北陸圏と四国圏では集落支援員が活動する割合が大きく増えている。

地方ブロック別・サポート人材が活動する集落数

＜今回調査：令和元年度＞

過疎地域	サポート人材が活動する集落数				総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	計 ※重複除く	
1 北海道	136 (3.6%)	409 (10.9%)	37 (1.0%)	515 (13.7%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	1,678 (11.9%)	1,379 (9.8%)	117 (0.8%)	2,773 (19.7%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	210 (10.2%)	414 (20.1%)	0 (0.0%)	602 (29.2%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	606 (29.3%)	818 (39.5%)	1 (0.0%)	939 (45.4%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	750 (20.9%)	757 (21.1%)	7 (0.2%)	1,276 (35.6%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	707 (19.7%)	489 (13.6%)	232 (6.5%)	1,154 (32.2%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	3,969 (32.1%)	4,892 (39.6%)	477 (3.9%)	6,229 (50.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,461 (21.0%)	2,039 (29.3%)	0 (0.0%)	3,355 (48.1%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	3,323 (22.9%)	2,525 (17.4%)	517 (3.6%)	5,128 (35.3%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	11 (4.1%)	18 (6.7%)	0 (0.0%)	26 (9.6%)	270 (100.0%)
合計	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	21,997 (34.8%)	63,237 (100.0%)

＜前回調査：平成27年度＞

過疎地域等	サポート人材が活動する集落数				総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	計 ※重複除く	
1 北海道	86 (2.2%)	516 (13.3%)	37 (1.0%)	601 (15.5%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	882 (6.0%)	1,352 (9.2%)	358 (2.4%)	2,351 (16.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	183 (7.6%)	575 (23.7%)	76 (3.1%)	756 (31.2%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	299 (16.5%)	768 (42.4%)	12 (0.7%)	1,059 (58.4%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	460 (11.8%)	704 (18.0%)	26 (0.7%)	1,088 (27.9%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	428 (13.5%)	341 (10.8%)	111 (3.5%)	810 (25.6%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	3,517 (27.5%)	3,370 (26.3%)	697 (5.4%)	5,207 (40.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	732 (10.2%)	1,900 (26.5%)	198 (2.8%)	2,320 (32.3%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	2,926 (19.0%)	1,511 (9.8%)	234 (1.5%)	4,188 (27.2%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	2 (0.7%)	1 (0.4%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	18,383 (28.1%)	65,440 (100.0%)

※「地域おこし協力隊等」…地域おこし協力隊に加え、地方自治体が独自制度として4年目以降も継続して配置している場合を含む。

「その他」…緑のふるさと協力隊(地球緑化センター)などの国等の支援制度や地方自治体独自の制度による外部人材が活動している集落

サポート人材の活動状況②

- 全体的にサポート人材の活用が増えているが、特に集落機能が低下及び維持困難な集落で活動するサポート人材が増加傾向にある。

サポート人材の有無別・地域区分別 集落数

過疎地域	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
サポート人材あり	8,169 (37.1%)	6,497 (29.5%)	6,139 (27.9%)	923 (4.2%)	269 (1.2%)	21,997 (100.0%)
集落	4,913 (38.2%)	3,599 (28.0%)	3,767 (29.3%)	347 (2.7%)	225 (1.8%)	12,851 (100.0%)
支援員	5,071 (36.9%)	4,111 (29.9%)	3,889 (28.3%)	557 (4.1%)	112 (0.8%)	13,740 (100.0%)
地域おこし協力隊	567 (40.9%)	463 (33.4%)	201 (14.5%)	157 (11.3%)	0 (0.0%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	11,763 (28.5%)	12,242 (29.7%)	13,539 (32.8%)	3,501 (8.5%)	195 (0.5%)	41,240 (100.0%)
合計	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)

サポート人材の有無別・集落機能の維持状況別 集落数

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
サポート人材あり	15,932 (72.4%)	4,786 (21.8%)	1,222 (5.6%)	57 (0.3%)	21,997 (100.0%)
集落	8,953 (69.7%)	3,075 (23.9%)	783 (6.1%)	40 (0.3%)	12,851 (100.0%)
支援員	9,867 (71.8%)	3,113 (22.7%)	735 (5.3%)	25 (0.2%)	13,740 (100.0%)
地域おこし協力隊	824 (59.4%)	412 (29.7%)	151 (10.9%)	1 (0.1%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	33,671 (81.6%)	6,107 (14.8%)	1,396 (3.4%)	66 (0.2%)	41,240 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

＜今回調査：
令和元年度＞

＜前回調査：
平成27年度＞

過疎地域等	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
サポート人材あり	6,981 (38.0%)	5,430 (29.5%)	5,206 (28.3%)	751 (4.1%)	15 (0.1%)	18,383 (100.0%)
集落	3,875 (40.7%)	2,754 (28.9%)	2,569 (27.0%)	311 (3.3%)	4 (0.0%)	9,513 (100.0%)
支援員	4,180 (37.9%)	3,214 (29.1%)	3,157 (28.6%)	476 (4.3%)	12 (0.1%)	11,039 (100.0%)
地域おこし協力隊	773 (44.2%)	548 (31.3%)	394 (22.5%)	35 (2.0%)	0 (0.0%)	1,750 (100.0%)
サポート人材なし	13,050 (27.7%)	13,744 (29.2%)	15,519 (33.0%)	4,420 (9.4%)	324 (0.7%)	47,057 (100.0%)
合計	20,031 (30.6%)	19,174 (29.3%)	20,725 (31.7%)	5,171 (7.9%)	339 (0.5%)	65,440 (100.0%)

過疎地域等	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
サポート人材あり	14,297 (77.8%)	2,941 (16.0%)	1,062 (5.8%)	83 (0.5%)	18,383 (100.0%)
集落	7,058 (74.2%)	1,731 (18.2%)	673 (7.1%)	51 (0.5%)	9,513 (100.0%)
支援員	8,785 (79.6%)	1,681 (15.2%)	534 (4.8%)	39 (0.4%)	11,039 (100.0%)
地域おこし協力隊	1,257 (71.8%)	350 (20.0%)	100 (5.7%)	43 (2.5%)	1,750 (100.0%)
サポート人材なし	39,424 (83.8%)	5,660 (12.0%)	1,737 (3.7%)	236 (0.5%)	47,057 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

※「サポート人材あり」は、集落支援員、地域おこし協力隊等、その他のいずれかの人材が活用されている集落数であり、同一集落において複数のタイプのサポート人材が活用されている場合がある。

サポート人材の活動状況③

- 全体的にサポート人材の活用が増えているが、特に消滅(無人化)する可能性があるると予測されている集落で活動するサポート人材が増加傾向にある。

サポート人材の有無別・消滅(無人化)可能性の予測別 集落数

<今回調査:令和元年度>

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
サポート人材あり	245 (1.1%)	1,181 (5.4%)	18,958 (86.2%)	1,613 (7.3%)	21,997 (100.0%)
集落	163 (1.3%)	743 (5.8%)	10,902 (84.8%)	1,043 (8.1%)	12,851 (100.0%)
支援員					
地域おこし協力隊	112 (0.8%)	666 (4.8%)	12,191 (88.7%)	771 (5.6%)	13,740 (100.0%)
その他	7 (0.5%)	81 (5.8%)	1,274 (91.8%)	26 (1.9%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	209 (0.5%)	1,563 (3.8%)	35,483 (86.0%)	3,985 (9.7%)	41,240 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

<前回調査:平成27年度>

過疎地域等	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
サポート人材あり	189 (1.0%)	986 (5.4%)	16,041 (87.3%)	1,167 (6.3%)	18,383 (100.0%)
集落	96 (1.0%)	606 (6.4%)	8,186 (86.1%)	625 (6.6%)	9,513 (100.0%)
支援員					
地域おこし協力隊	110 (1.0%)	490 (4.4%)	9,832 (89.1%)	607 (5.5%)	11,039 (100.0%)
その他	22 (1.3%)	125 (7.1%)	1,511 (86.3%)	92 (5.3%)	1,750 (100.0%)
サポート人材なし	326 (0.7%)	1,711 (3.6%)	41,078 (87.3%)	3,942 (8.4%)	47,057 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

※ 「サポート人材あり」は、集落支援員、地域おこし協力隊、その他のいずれかの人材が活用されている集落数であり、同一集落において複数のタイプのサポート人材が活用されている場合がある。

消滅(無人化)が危惧される集落における生活環境の状況①

- 消滅(無人化)が危惧される(10年以内に消滅(無人化)と予測+いずれ消滅(無人化)と予測)過疎地域の集落では、行政窓口や病院に行くために車等で21分以上かかる割合が2割を超えている。
- 消滅(無人化)が危惧される過疎地域の集落では、当該集落から市町村の中心部に行く際に、「デマンドバス・乗合タクシー」を利用する割合が最も高い(28.9%)。

地方ブロック別・消滅が危惧される集落から最寄りの施設までの所要時間・提供されている交通サービス

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの車での所要時間			病院までの車での所要時間			商店までの車での所要時間			当該集落から市町村の中心部への移動手段						移動手段の有無		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
1 北海道	233 (100.0%)	141 (60.5%)	63 (27.0%)	28 (12.0%)	117 (50.2%)	83 (35.6%)	32 (13.7%)	124 (53.2%)	86 (36.9%)	22 (9.4%)	18 (7.7%)	65 (27.9%)	1 (0.4%)	63 (27.0%)	16 (6.9%)	11 (4.7%)	12 (5.2%)	215 (92.3%)	18 (7.7%)
2 東北圏	439 (100.0%)	172 (39.2%)	164 (37.4%)	103 (23.5%)	184 (41.9%)	157 (35.8%)	98 (22.3%)	258 (58.8%)	112 (25.5%)	69 (15.7%)	13 (3.0%)	118 (26.9%)	6 (1.4%)	117 (26.7%)	66 (15.0%)	18 (4.1%)	17 (3.9%)	340 (77.4%)	99 (22.6%)
3 首都圏	97 (100.0%)	46 (47.4%)	37 (38.1%)	14 (14.4%)	34 (35.1%)	43 (44.3%)	20 (20.6%)	37 (38.1%)	35 (36.1%)	25 (25.8%)	0 (0.0%)	35 (36.1%)	4 (4.1%)	30 (30.9%)	4 (4.1%)	2 (2.1%)	3 (3.1%)	77 (79.4%)	20 (20.6%)
4 北陸圏	97 (100.0%)	27 (27.8%)	41 (42.3%)	29 (29.9%)	20 (20.6%)	45 (46.4%)	32 (33.0%)	29 (29.9%)	47 (48.5%)	21 (21.6%)	2 (2.1%)	23 (23.7%)	5 (5.2%)	21 (21.6%)	16 (16.5%)	3 (3.1%)	2 (2.1%)	70 (72.2%)	27 (27.8%)
5 中部圏	301 (100.0%)	119 (39.5%)	123 (40.9%)	57 (18.9%)	111 (36.9%)	118 (39.2%)	70 (23.3%)	118 (39.2%)	104 (34.6%)	77 (25.6%)	34 (11.3%)	59 (19.6%)	15 (5.0%)	144 (47.8%)	41 (13.6%)	38 (12.6%)	3 (1.0%)	257 (85.4%)	44 (14.6%)
6 近畿圏	228 (100.0%)	65 (28.5%)	95 (41.7%)	67 (29.4%)	75 (32.9%)	79 (34.6%)	73 (32.0%)	62 (27.2%)	57 (25.0%)	108 (47.4%)	7 (3.1%)	47 (20.6%)	12 (5.3%)	47 (20.6%)	59 (25.9%)	6 (2.6%)	21 (9.2%)	198 (86.8%)	30 (13.2%)
7 中国圏	440 (100.0%)	161 (36.6%)	175 (39.8%)	104 (23.6%)	144 (32.7%)	180 (40.9%)	116 (26.4%)	188 (42.7%)	175 (39.8%)	77 (17.5%)	15 (3.4%)	111 (25.2%)	6 (1.4%)	161 (36.6%)	66 (15.0%)	52 (11.8%)	78 (17.7%)	361 (82.0%)	79 (18.0%)
8 四国圏	732 (100.0%)	272 (37.2%)	243 (33.2%)	210 (28.7%)	260 (35.5%)	285 (38.9%)	182 (24.9%)	341 (46.6%)	260 (35.5%)	126 (17.2%)	5 (0.7%)	198 (27.0%)	35 (4.8%)	167 (22.8%)	176 (24.0%)	83 (11.3%)	108 (14.8%)	660 (90.2%)	72 (9.8%)
9 九州圏	630 (100.0%)	279 (44.3%)	251 (39.8%)	100 (15.9%)	303 (48.1%)	244 (38.7%)	82 (13.0%)	340 (54.0%)	217 (34.4%)	73 (11.6%)	11 (1.7%)	193 (30.6%)	35 (5.6%)	173 (27.5%)	51 (8.1%)	138 (21.9%)	50 (7.9%)	551 (87.5%)	79 (12.5%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

※いずれの施設も、各集落から最も近い施設までの車による所要時間。

※離島にある集落など、車では最寄りの各施設に行けない場合は、その他の交通手段(船舶等)による所要時間。

消滅(無人化)が危惧される集落における生活環境の状況②

- 消滅(無人化)が危惧される過疎地域の集落における空き家の管理状況をみると、「一部は管理不十分」が50.9%(1,627集落)、「大部分は管理不十分」が12.6%(402集落)となっており、空き家の管理が不十分な状況がみられる。
- 道路・用排水路・河川等の管理状態をみると、44.0%の集落で「管理不十分」又は「(管理が行き届かず)荒廃」している状態となっている。

地方ブロック別・消滅(無人化)が危惧される集落における空き家の管理状況、道路・用排水路・河川等の管理状態

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家はない	概ね良好に管理	一部は管理不十分	大部分は管理不十分	無回答	良好に管理	管理不十分	荒廃	無回答
1 北海道	233 (100.0%)	15 (6.4%)	80 (34.3%)	103 (44.2%)	19 (8.2%)	16 (6.9%)	199 (85.4%)	19 (8.2%)	0 (0.0%)	15 (6.4%)
2 東北圏	439 (100.0%)	54 (12.3%)	204 (46.5%)	132 (30.1%)	18 (4.1%)	31 (7.1%)	323 (73.6%)	88 (20.0%)	3 (0.7%)	25 (5.7%)
3 首都圏	97 (100.0%)	0 (0.0%)	28 (28.9%)	68 (70.1%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	68 (70.1%)	26 (26.8%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)
4 北陸圏	97 (100.0%)	12 (12.4%)	24 (24.7%)	56 (57.7%)	5 (5.2%)	0 (0.0%)	63 (64.9%)	29 (29.9%)	5 (5.2%)	0 (0.0%)
5 中部圏	301 (100.0%)	16 (5.3%)	67 (22.3%)	201 (66.8%)	15 (5.0%)	2 (0.7%)	139 (46.2%)	155 (51.5%)	3 (1.0%)	4 (1.3%)
6 近畿圏	228 (100.0%)	0 (0.0%)	44 (19.3%)	133 (58.3%)	29 (12.7%)	22 (9.6%)	154 (67.5%)	68 (29.8%)	2 (0.9%)	4 (1.8%)
7 中国圏	440 (100.0%)	13 (3.0%)	97 (22.0%)	294 (66.8%)	29 (6.6%)	7 (1.6%)	226 (51.4%)	198 (45.0%)	7 (1.6%)	9 (2.0%)
8 四国圏	732 (100.0%)	17 (2.3%)	203 (27.7%)	374 (51.1%)	114 (15.6%)	23 (3.1%)	226 (30.9%)	471 (64.3%)	11 (1.5%)	23 (3.1%)
9 九州圏	630 (100.0%)	2 (0.3%)	162 (25.7%)	266 (42.2%)	171 (27.1%)	29 (4.6%)	283 (44.9%)	309 (49.0%)	9 (1.4%)	29 (4.6%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

生活サービス機能の立地状況

- 消滅(無人化)が危惧される過疎地域の集落においては、当面存続するとみられる集落と比べて、すべての生活サービス機能の立地状況の割合が低いが、とりわけ「商店・スーパー」の立地状況の割合は20ポイント以上低くなっている。

地方ブロック別・消滅(無人化)可能性の予測別 生活サービス機能の立地状況(各サービスが立地している集落数)

<消滅(無人化)が危惧される集落>

過疎地域	消滅が危惧される集落	生活サービス機能の立地状況(各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	233 (100.0%)	4 (1.7%)	68 (29.2%)	2 (0.9%)	6 (2.6%)	6 (2.6%)	5 (2.1%)	16 (6.9%)	8 (3.4%)	1 (0.4%)	110 (47.2%)	1 (0.4%)	5 (2.1%)
2 東北圏	439 (100.0%)	2 (0.5%)	112 (25.5%)	4 (0.9%)	18 (4.1%)	25 (5.7%)	5 (1.1%)	8 (1.8%)	6 (1.4%)	5 (1.1%)	222 (50.6%)	8 (1.8%)	5 (1.1%)
3 首都圏	97 (100.0%)	0 (0.0%)	22 (22.7%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)	10 (10.3%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	62 (63.9%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)
4 北陸圏	97 (100.0%)	0 (0.0%)	15 (15.5%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	5 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	51 (52.6%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)
5 中部圏	301 (100.0%)	4 (1.3%)	104 (34.6%)	3 (1.0%)	4 (1.3%)	31 (10.3%)	4 (1.3%)	8 (2.7%)	8 (2.7%)	8 (2.7%)	180 (59.8%)	5 (1.7%)	5 (1.7%)
6 近畿圏	228 (100.0%)	2 (0.9%)	64 (28.1%)	5 (2.2%)	2 (0.9%)	6 (2.6%)	0 (0.0%)	7 (3.1%)	4 (1.8%)	1 (0.4%)	134 (58.8%)	4 (1.8%)	1 (0.4%)
7 中国圏	440 (100.0%)	2 (0.5%)	75 (17.0%)	4 (0.9%)	9 (2.0%)	13 (3.0%)	3 (0.7%)	11 (2.5%)	8 (1.8%)	3 (0.7%)	165 (37.5%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)
8 四国圏	732 (100.0%)	25 (3.4%)	250 (34.2%)	7 (1.0%)	12 (1.6%)	16 (2.2%)	11 (1.5%)	9 (1.2%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	240 (32.8%)	2 (0.3%)	1 (0.1%)
9 九州圏	630 (100.0%)	3 (0.5%)	154 (24.4%)	7 (1.1%)	20 (3.2%)	19 (3.0%)	9 (1.4%)	16 (2.5%)	11 (1.7%)	8 (1.3%)	322 (51.1%)	10 (1.6%)	11 (1.7%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	42 (1.3%)	864 (27.0%)	33 (1.0%)	74 (2.3%)	131 (4.1%)	37 (1.2%)	77 (2.4%)	51 (1.6%)	27 (0.8%)	1,486 (46.5%)	33 (1.0%)	32 (1.0%)

<当面存続するとみられる集落>

過疎地域	当面存続するとみられる集落	生活サービス機能の立地状況(各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	3,513 (100.0%)	264 (7.5%)	1,356 (38.6%)	353 (10.0%)	901 (25.6%)	865 (24.6%)	502 (14.3%)	623 (17.7%)	615 (17.5%)	291 (8.3%)	2,152 (61.3%)	400 (11.4%)	389 (11.1%)
2 東北圏	13,628 (100.0%)	462 (3.4%)	4,327 (31.8%)	1,008 (7.4%)	3,665 (26.9%)	2,402 (17.6%)	1,110 (8.1%)	1,170 (8.6%)	1,465 (10.7%)	937 (6.9%)	7,625 (56.0%)	808 (5.9%)	887 (6.5%)
3 首都圏	1,963 (100.0%)	99 (5.0%)	811 (41.3%)	181 (9.2%)	522 (26.6%)	554 (28.2%)	218 (11.1%)	230 (11.7%)	253 (12.9%)	175 (8.9%)	1,215 (61.9%)	122 (6.2%)	132 (6.7%)
4 北陸圏	1,973 (100.0%)	44 (2.2%)	540 (27.4%)	144 (7.3%)	569 (28.8%)	430 (21.8%)	132 (6.7%)	162 (8.2%)	227 (11.5%)	124 (6.3%)	1,330 (67.4%)	89 (4.5%)	103 (5.2%)
5 中部圏	3,288 (100.0%)	203 (6.2%)	1,593 (48.4%)	300 (9.1%)	716 (21.8%)	819 (24.9%)	298 (9.1%)	334 (10.2%)	437 (13.3%)	255 (7.8%)	2,395 (72.8%)	226 (6.9%)	219 (6.7%)
6 近畿圏	3,361 (100.0%)	133 (4.0%)	1,400 (41.7%)	392 (11.7%)	814 (24.2%)	976 (29.0%)	315 (9.4%)	400 (11.9%)	440 (13.1%)	279 (8.3%)	2,344 (69.7%)	256 (7.6%)	253 (7.5%)
7 中国圏	11,928 (100.0%)	265 (2.2%)	1,871 (15.7%)	762 (6.4%)	1,640 (13.7%)	1,172 (9.8%)	569 (4.8%)	772 (6.5%)	866 (7.3%)	531 (4.5%)	4,567 (38.3%)	457 (3.8%)	522 (4.4%)
8 四国圏	6,238 (100.0%)	376 (6.0%)	1,943 (31.1%)	506 (8.1%)	1,305 (20.9%)	905 (14.5%)	457 (7.3%)	463 (7.4%)	514 (8.2%)	341 (5.5%)	2,768 (44.4%)	288 (4.6%)	340 (5.5%)
9 九州圏	13,878 (100.0%)	386 (2.8%)	6,090 (43.9%)	1,367 (9.9%)	3,456 (24.9%)	2,335 (16.8%)	1,337 (9.6%)	1,267 (9.1%)	1,358 (9.8%)	1,067 (7.7%)	7,727 (55.7%)	946 (6.8%)	1,186 (8.5%)
10 沖縄県	269 (100.0%)	28 (10.4%)	221 (82.2%)	45 (16.7%)	149 (55.4%)	144 (53.5%)	41 (15.2%)	39 (14.5%)	59 (21.9%)	65 (24.2%)	194 (72.1%)	65 (24.2%)	71 (26.4%)
合計	60,039 (100.0%)	2,260 (3.8%)	20,152 (33.6%)	5,058 (8.4%)	13,737 (22.9%)	10,602 (17.7%)	4,979 (8.3%)	5,460 (9.1%)	6,234 (10.4%)	4,065 (6.8%)	32,317 (53.8%)	3,657 (6.1%)	4,102 (6.8%)

※「当面存続するとみられる集落」には集落の消滅予測が空欄の集落も含む。